

府中市デジタル田園都市国家構想総合戦略 (第3期府中市総合戦略) 概要版

1 総合戦略策定の趣旨

【国の地方創生の目的・ねらい】

我が国では、少子高齢化と人口減少が進み、地方の経済縮小と人口減少が悪循環を招く懸念があります。この問題に対応するため、政府は平成26(2014)年に「まち・ひと・しごと創生法」を施行し、長期ビジョンや総合戦略を策定しました。さらに、令和4(2022)年にはデジタル技術を活用して地域課題を解決する「デジタル田園都市国家構想」を導入し、新たな総合戦略を策定しました。令和7(2025)年には地域活性化を超えた経済・社会政策として「地方創生2.0」を提示し、地方再生を目指しています。

【府中市における地方創生の目指す方向】

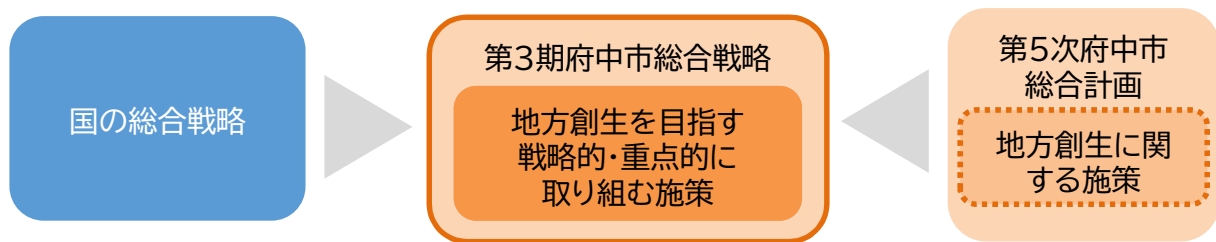
本市の次期総合戦略では、「地方創生2.0」と国の総合戦略のテーマを踏まえ、本市の昼間人口が多く、来街者が多い利点を活かして交流人口や関係人口を増やし、「だれもが活躍できるまち」を目指します。具体的には、すべての世代が自分の能力を発揮できる地域づくりを進め、若者や移住者が新しい価値を生み出す仕組みを構築するとともに、高齢者が地域の力となることを支援します。その結果、住民一人ひとりが豊かさと感じられるまちを実現します。また財政面では、「持続可能な財政運営プラン」に基づき中長期的な視点で財源の確保に向けた取組を継続するなど、堅実な財政運営を推進します。

2. 第3期総合戦略の位置づけ

【第5次府中市総合計画との関連性】

令和2(2020)年度からスタートした「第5次府中市総合計画(以下、第5次総合計画という)」は、本市のまちづくりの指針として、行政運営を総合的かつ計画的に推進するために定めた計画で、市内外の人や企業から「選ばれるまち」となることを目指しています。

この方向性は国が目指す地方創生の取組とも一致していることから、本市の総合戦略においても、第5次総合計画で定めた基本目標と連動して、本市が主体的に取り組む施策のうち、地方創生に関する事業を総合戦略事業と位置づけています。



【第3期総合戦略の計画期間】

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
本市総合計画	4次	しあわせ府中2030プラン										
本市総合戦略	第1期	第2期				第3期						
持続可能な財政運営プラン												
びんご圏域ビジョン	第1期	第2期				第3期						
政府の地方創生施策	まち・ひと・しごと創生総合戦略				デジタル田園都市国家構想総合戦略				次期戦略 2028年度以降			

3. 第2期総合戦略の柱と第3期総合戦略に向けた課題

戦略1 府中で働く ～地域の特性を活かし、若者を引きつける働く場をつくる

・生産労働人口の減少に伴い、市内産業では人手・人材不足が深刻化しており、生産性の向上が喫緊の課題です。生産性の向上に向けては人材の確保・育成に加え、省力化投資も有効であり、市内事業者が重要視する課題とも一致するため、第3期総合戦略では市内事業者の人材確保・育成支援と生産性向上に向けた側面的支援を行う必要があります。

戦略2 府中で育てる ～安心して出産・子育てができる環境をつくる

・子育て・教育のどちらの施策においても、府中市が「子育てのまち」、「教育のまち」としての認知度が低いことから、若年層を呼び込むためには、市民一丸となって子育てや教育を応援する機運を醸成することが必要です。地域と連携した子育てや教育活動を進めることで、より広い世代の市民が子育て・教育とのつながりを認識できるよう取り組む必要があります。

戦略3 府中へのひとの流れをつくる ～地域の価値を高め、魅力あるまちをつくる

・駅周辺のにぎわい創出に向けては、これまでの府中市のまちづくりを土台に、空き店舗の活用や町並みの整備などの取組をさらに広げ、持続的に発展させる必要があります。
・観光面では、新規コンテンツ開発と地域団体・民間事業者との連携強化が必要です。また、情報発信力を強化し、市民意識を醸成することで、地域全体で観光を支える体制の構築も必要です。
・スポーツの分野ではスポーツ活動を「まちづくり」「地域振興」にもつなげていく取組が求められているため、様々な分野と連携した取組により、交流人口の拡大やコミュニティの形成等を目指します。
・移住定住の推進は、横断的な連携やより多くの人への情報発信が不可欠です。今後は移住定住への発展の可能性がある関係人口の創出・活性化のための取組を進めていきます。
・交通の分野では、住民の日常生活を支える最適な交通システム構築に向けて、必要に応じて事業者等と協力して改善を図るとともに、交通機関の利用者確保に向けた周知・啓発が大切です。

戦略4 安心して暮らすことができる地域をつくる ～持続可能な地域社会をつくる

・市内の医療体制については、医師不足に加え、開業医も減少していく可能性があるため、医師・医療機関の維持確保、また、市外医療機関との連携の充実が必要です。そのため、引き続き市内での医師の開業や診療所等の事業承継に対する支援を行う必要があります。
・市民の健康に関しては、市民自らがライフステージに応じたフレイル予防に取り組み、周囲のサポートを通じて、より長く健康的な生活を送ることができる環境づくりが必要です。
・地域社会の持続的発展に向けては、引き続き市民一人ひとりが地域の担い手として自ら積極的に参画し、地域資源を活用しながら地域課題等に取り組む必要があります。一人ひとりが安全・安心に暮らし続けることができる環境づくりを進めるとともに、地域の特性や課題に応じた取組を支援します。

戦略5 新しい時代の流れを力にする ～DXを活用したまちの豊かさの向上

・市民サービスの向上を目的とした、オンライン手続きの拡充やデジタルツールの導入などにより効率的かつ迅速な行政運営が求められています。また、地域経済の活性化や企業の競争力向上を図るため、デジタル化に向けた支援も必要です。
・ドローン推進戦略については、優先順位が低いことから見直すこととし、今後は、地域課題の解決に向けた個別の取組や、他市町との連携した取組など必要に応じて活用していきます。

4 第3期総合戦略の基本方向

【本市の目指すべき理想像(地域ビジョン)】

本市は、自然環境の豊かさを始め、まちなみの魅力や充実した子育て環境、幅広い産業が集積するなど、様々なライフスタイルや働き方を実現できる可能性を持っています。このような府中市の強みを官民が一体となって一層強化していくことで、誰でも活躍できる場があり、多くの人を惹きつけ、総合計画に掲げる“幸せ”が実感できるまちとなることを目指し、「未来を創造し、誰もが“活躍”と“幸せ”を感じられるまち 府中市」を地域ビジョンに設定します。

未来を創造し、誰もが“活躍”と“幸せ”を感じられるまち 府中市

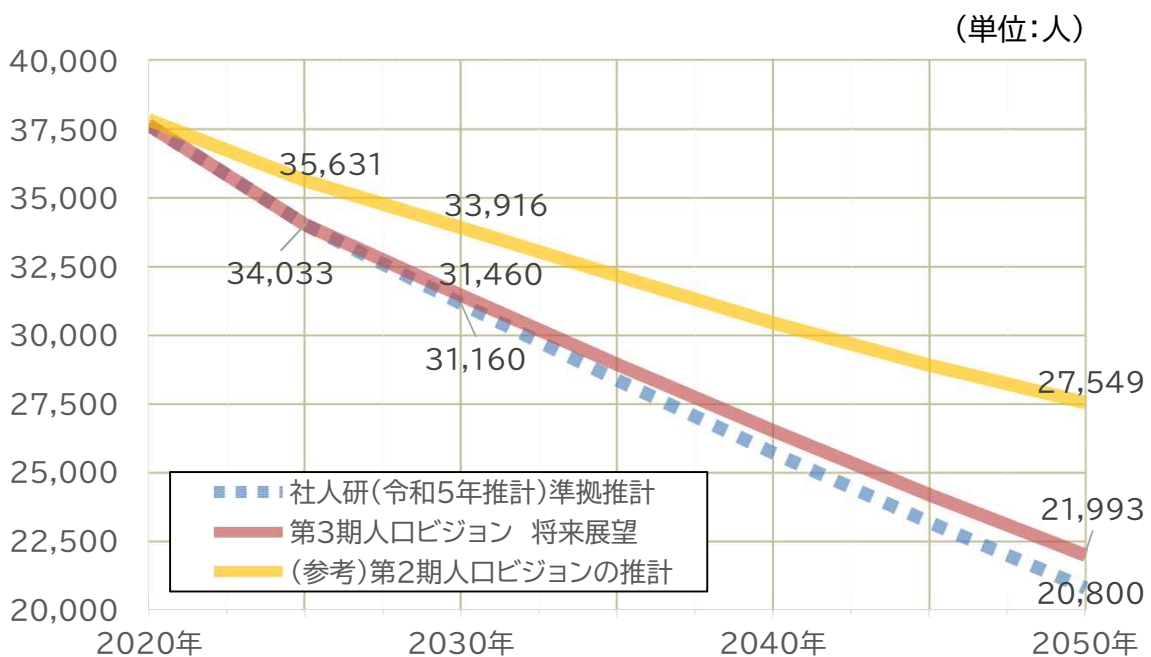
【第3期人口ビジョン】

本市の人口の将来展望については、第2期人口ビジョンの考え方を継続しつつ、一層、現状に即した目標人口を設定します。なお、今後、目標人口(目標として設定する定住人口)は減少していくことが見込まれていますが、交流人口や関係人口の創出により、賑わいづくりや移住定住の促進に取り組んでいきます。

【目標人口の設定条件】

社会増減の改善	旧	令和12(2030)年までに社会減を改善し、社会増減が均衡(ゼロ)します。
	新	令和12(2030)年までに社会減を社会保障・人口問題研究所が推計する人口から300人改善します。
自然増減の改善	旧	適齢期の女性人口増、非婚・晩婚化対策、子育て支援を強化することで、令和12(2030)年までに合計特殊出生率を2.07にします。
	新	適齢期の女性人口増、非婚・晩婚化対策、子育て支援を強化することで令和12(2030)年の合計特殊出生率を、社会保障・人口問題研究所が示す数値1.27よりも引き上げます。

【社人研推計と府中市の将来展望人口】



【4つの戦略目標】

地域が目指すべき理想像(地域ビジョン)と人口ビジョンの将来展望の実現を目指すとともに、第2期総合戦略における成果と課題を引き継ぎ、切れ目なく推進するため、第3期総合戦略においては、以下の4分野を戦略の柱として設定します。

戦略1:産業の活性化 ~官民一体で未来につなげる地域産業~

地域産業に共通する課題である生産年齢人口の減少に対し、「人材確保」「経営基盤強化」「販路拡大」「スマート化」を支援することで地域産業の活性化を図ります。

戦略2:子育て・教育の充実 ~オール府中の子育て・教育によるウェルビーイングの実現~

全ての子どもや若者のウェルビーイング実現に向けて、ライフステージの変化に応じた子育て支援や個別最適な教育といったきめ細やかな取組を行います。

戦略3:まちの魅力向上 ~地域の資源を活かした住みよい地域づくり~

「住みたい」「訪れたい」まちとして選ばれるため、観光、スポーツ、まちづくりなど多分野で地域資源を活かした取組を進めるとともに、関係人口の創出から移住定住の獲得につながる取組を通じてまちの魅力向上を図ります。

戦略4:暮らしやすさ ~地域がつながり支え合う、安心して暮らせる環境づくり~

市民の安全・安心の確保と多様化する地域課題の解決のため、公助の体制強化・充実と、市民一人ひとりの自助・共助の意識醸成を図ります。

【横断的な視点】

第3期総合戦略を効果的なものとするためには、それぞれの目標を個別に取り組むだけでなく、分野横断的な視点で推進していくことも大切です。そこで、総合戦略では次の4つに重点をおき、横断的に取り組んでいきます。

① デジタルの力を活用した施策(DX)の推進

デジタル化を推進することにより、地域課題の解決や魅力向上の取組の加速化・深化を図るとともに、行政サービスの向上にもつなげます。

② 戦略的なシティプロモーションによる市内外への情報発信

産業、教育、文化など市の魅力を市内外に“つたえ”、「市民が誇れる」、「訪れたい」まちとなるべく、効果的な情報発信に取り組めます。

③ 多様な人材の活躍を支援

多様な人材が活躍することによって地域の活力を高め、持続的に発展していくことを目指します。

④ 広域連携(施策間連携・地域間連携・官民連携)の推進

複数の地方公共団体において相互に施策を関連付けて実施し、共通の課題に対して、効果的かつ効率的な取組を行っていきます。

【重点プロジェクト】

4つの戦略目標と横断的取組の視点を踏まえ、本市の第3期総合戦略で横断的に取り組む3つの重点プロジェクトを設定します。

プロジェクト1 「つたえる」プロジェクト

産業、教育、文化など市の魅力を市内外に“つたえ”、「市民が誇れる」、「訪れたいくなる」まちとしてのイメージ定着を目指します。

プロジェクト2 「つながる」プロジェクト

自治体間のつながりや官民連携などの強化を通じて、地域と行政が“つながり”、官民が一体となってよりよいまちづくりを目指します。

プロジェクト3 「あるきたくなる」プロジェクト

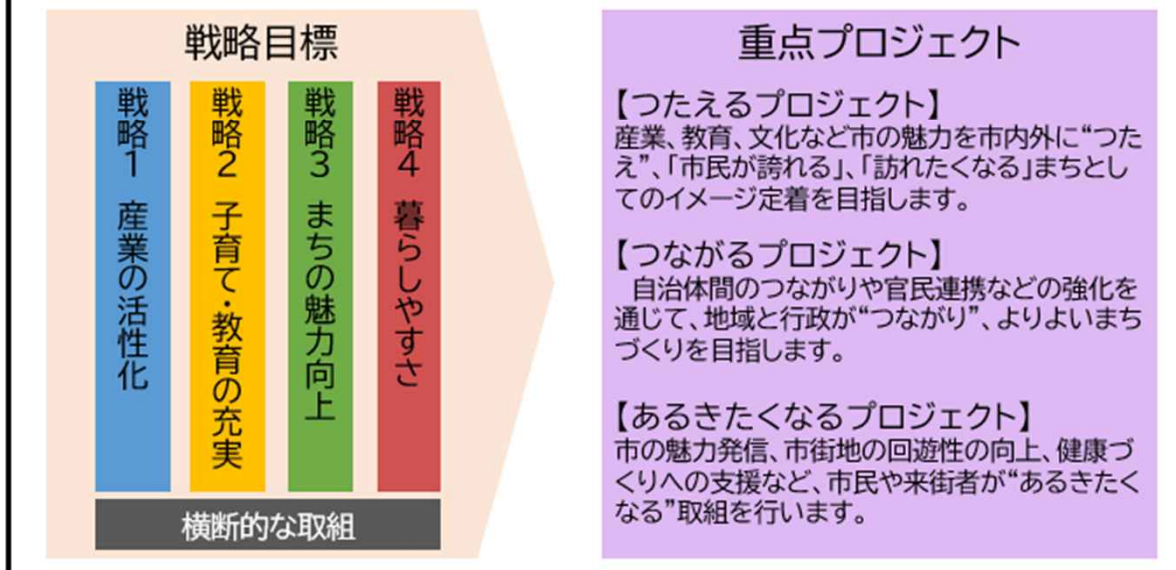
市の魅力発信、市街地の回遊性の向上、健康づくりへの支援など、市民や来街者が“あるきたくなる”取組を行います。

【第3期総合戦略の体系図】

地域ビジョン

【未来を創造し、誰もが“活躍”と“幸せ”を感じられるまち 府中市】

第3期総合戦略の体系図



5. 戦略目標ごとの具体的施策

戦略1 産業の活性化 ～官民一体で未来につなげる地域産業～

【ねらい】

本市では、生産年齢人口の減少による人材不足に対応するため、働きやすい環境整備の促進や事業者と学生の接点創出、生産性向上支援などを行います。また、事業環境の変化に対応するための新たな販路開拓を促進します。

農業分野では担い手減少への対策としてスマート化の支援や6次産業化支援による収益力の向上、新規就農者の確保を図り、持続可能な農業につなげます。

【施策の方向性】

①企業人材確保への支援

- ・企業プロモーション支援
- ・起業支援
- ・外国人労働者等の受入環境整備
- ・職業訓練への支援

【行政の取組事例】

- ・事業者と求職者との出会いの場の機会創出
- ・100年企業のプロモーションへの支援
- 【産業界が取り組むこと】
- ・雇用の創出
- ・自社の魅力PR

②中小企業等の基盤強化

- ・生産性向上への支援
- ・多様な相談窓口との連携
- ・販路開拓支援
- ・産業関係室による伴走支援

【行政の取組事例】

- ・生産性向上に資する環境整備支援
- ・事業者向け支援機関との連携 など
- 【産業界が取り組むこと】
- ・設備投資等による生産性向上
- ・積極的な事業展開(販路拡大) など

③産学官連携

- ・大学との協働による研究開発支援

【行政の取組事例】

- ・大学との関係構築連携事業
- ・人材確保事業
- 【産業界が取り組むこと】
- ・産学官連携への積極的な取組

④農業のスマート化、6次産業化支援

- ・スマート農業の導入支援
- ・6次産業化支援
- ・多様な担い手の確保

【行政の取組事例】

- ・スマート農業技術導入促進支援
- ・6次産業化支援
- ・研修生が就農する際の新規就農支援
- 【農業経営体、地域などが取り組むこと】
- ・農産物等の高付加価値化 など

【KPI】

重点業績評価項目	現状値	目標値
①多様な人材活躍実践企業認定制度の新規認定企業数	14社	20社
②計画期間中、見本市への支援事業を活用して出展した見本市での商談件数	—	通算3,000件
③産学官連携希望を市に申し出た事業者数	2件	10件
④支援事業の活用を通じて農業販売額が増加した件数	3件	6件

5. 戦略目標ごとの具体的施策

戦略2 子育て・教育の充実 ～オール府中の子育て・教育によるウェルビーイングの実現～

【ねらい】

本市では、府中市に住む子育て世代が安心して妊娠・出産・子育てに取り組めるよう、各ステージに応じた支援を提供するとともに、こどもや若者のウェルビーイング実現に向けて取り組みます。

教育分野では、府中市の児童生徒が主体的に学び、未来に挑戦できる力を育むことを目指します。さらに、市民一人ひとりが生涯を通じて主体的に学び続けることで自己実現や社会参画できるよう支援します。

【施策の方向性】

① ライフステージに応じた子育て支援

- ・妊産婦支援
- ・経済的負担の軽減
- ・親子の成長と交流の場の支援

【行政の取組事例】

- ・こども医療費助成事業
- ・不妊治療費助成事業
- ・産後ケア事業
- 【保護者や地域が取り組むこと】
- ・地域行事等への参加
- ・地域での見守り
- ・実施事業等の積極的な活用

② 教育環境の充実

- ・人生100年時代の学びを生み出す生涯学習大学(仮称)構想の実現
- ・教育活動におけるデジタル技術の効果的な活用
- ・9年間の学びをつなぐ小中一貫教育の充実
- ・こどもたちとつくるコミュニティ・スクール
- ・体験を通して探究を深めるキャリア教育

【行政の取組事例】

- ・生涯学習大学(仮称)構想構築事業
- ・小中一貫教育を通じた自立したこどもの育成
- ・一人一台端末の効果的活用などの授業改善
- ・市内一斉学力調査
- ・体力の見える化アプリの導入・活用
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 【保護者や地域が取り組むこと】
- ・コミュニティ・スクールへの参画
- ・キャリア体験学習の受入 など

③ こども・若者のセーフティネット

- ・こどもの予防的支援
- ・こども食堂、いじめ・不登校対策
- ・障害のあるこども・若者の支援

【行政の取組事例】

- ・こどもの予防的見守り支援
- ・不登校児童生徒の居場所づくり
- ・医療的ケア児通学支援事業
- 【保護者や地域が取り組むこと】
- ・防災・防犯のための地域活動・連携

【KPI】

重点業績評価項目	現状値	目標値
①府中市での子育てに満足している割合	50%	70%
②全国学力・学習状況調査における平均正答率	小国67% 小算59% 中国52% 中数42%	全国平均以上
②生涯学習大学(仮称)で実施しているプログラム(講座)に満足している割合	—	70%
③相談したり、悩みを話すことのできる人がいる割合	84%	89%

5. 戦略目標ごとの具体的施策

戦略3 まちの魅力向上 ～地域の資源を活かした住みよい地域づくり～

【ねらい】

本市では、まちの中心的存在であるJR府中駅を中心に、来街者や駅近くの住宅地に住む人々が気軽に足を運べる環境を整えることで、まちのにぎわいを創出します。

また、拡大するインバウンド需要を市内で効率的に取り込むため、市内各地域を訪れる観光客が他地域にも足を運ぶような仕組みを検討するとともに、持続可能な観光を推進します。

併せて、スポーツ活動を通じて「まちづくり」や「地域振興」に繋げていきます。

さらに、多様な担い手が活躍できるまちの実現に向けて、移住定住の受入促進、関係人口の創出、持続的な活躍を促進する取組を推進します。

【施策の方向性】

①府中駅を中心とするまちの魅力

- ・駅南エリアを起点としたにぎわいづくり
- ・府中駅北口周辺の整備

【行政の取組事例】

- ・駅南エリアにおける公共施設や官民連携施設を活用した回遊性の促進

- ・府中駅北口周辺の整備計画の検討

【地域が取り組むこと】

- ・駅南エリアに所在する施設の積極活用

②地域の資源を活かした観光の推進

- ・インバウンドの呼び込み
- ・広域観光の推進

【行政の取組事例】

- ・上下町の白壁のまちなみを活かした観光誘客

- ・デジタル技術を活用した観光体験の改善 など

【地域が取り組むこと】

- ・恋しきや翁座を活用したイベントの実施

- ・体験型コンテンツや散策ツアーなどの実施

③スポーツによる地域のにぎわい創出

- ・スポーツを楽しめる環境づくり
- ・スポーツを通じた地域のにぎわい創出

【行政の取組事例】

- ・スポーツイベント、スポーツ教室の開催

- ・スポーツ施設の環境整備 など

【地域が取り組むこと】

- ・スポーツイベント、スポーツ教室の開催や参加

- ・スポーツイベント運営への参画

④移住定住の促進・関係人口の創出

- ・空き家を活用したにぎわいづくり
- ・ふるさと住民登録制度の検討
- ・ふるさと納税の取組強化

【行政の取組事例】

- ・空き家バンク事業

- ・若者の定着・回帰に向けた県・市町一体型PJT

- ・ふちゅう若者フロンティア会議 など

【地域が取り組むこと】

- ・まちおこしへの協力 ・移住者の受入

【KPI】

重点業績評価項目	現状値	目標値
①駅周辺の公共施設の利用者数※	519,467人	626,587人
②観光消費額	1,364百万円	1,473百万円
③スポーツ施設の利用者数	270,596人	330,000人
④ふるさと納税額(企業版含む)	2億337万円	4億円

※KPIにおける駅周辺の公共施設は、こどもの国ポムポム、i-coreFUCHU、道の駅びんご府中、SPINGLEウェルネスセンターgym&swimmingを指します。

5. 戦略目標ごとの具体的施策

戦略4 暮らしやすさ ～地域がつながり支え合う、安心して暮らせる環境づくり～

【ねらい】

地域住民、行政、市民団体、事業者などが協働し、それぞれの役割を発揮しながら支え合える「地域共生社会」の実現を目指します。

また、健康寿命の延伸を目指して、市民自らが規則的な生活習慣や運動習慣を定着させられるよう支援するとともに、持続可能な介護体制の構築に取り組みます。

医療分野では、将来にわたり安定した医療サービスを提供するため、医師や医療機関の確保をはじめとした医療提供体制の維持・確保に努めます。

公共交通では地域での生活に応じた公共交通機関の整備やターゲットに合わせた実効性の高い利用促進を図ります。

【施策の方向性】

①地域共生社会の実現

- ・重層的支援体制の構築
- ・地域の見守りの強化
- ・元気な高齢者の活躍支援

【行政の取組事例】

- ・重層的支援体制構築事業
 - ・民生委員児童委員協力員制度 など
- ##### 【住民・地域が取り組むこと】
- ・地域の人とのつながりづくり
 - ・地域での孤立防止 など

②健康づくりの推進

- ・フレイル予防
- ・認知症予防

【行政の取組事例】

- ・フレイル予防事業 ・通いの場支援事業
 - ・健康管理アプリによる健康ポイント事業
- ##### 【住民・地域が取り組むこと】
- ・食事・運動・休養等の見直し
 - ・認知症を支える地域づくり

③持続可能な医療サービス

- ・医師・医療機関の確保
- ・医療連携の充実

【行政の取組事例】

- ・医師育成奨学金貸与事業
 - ・医療機関開業支援等補助事業 など
- ##### 【住民・地域が取り組むこと】
- ・医療機関の適切な利用の心がけ

④防災・災害対応

- ・地域防災力の強化
- ・災害対応力の強化
- ・内水浸水対策

【行政の取組事例】

- ・地域防災力強化事業 ・災害対応力強化事業
- ##### 【地域が取り組むこと】
- ・防災訓練の実施 ・避難の呼びかけ体制構築

⑤地域協働

- ・持続可能な地域づくりの検討
- ・CSRマッチング支援

【行政の取組事例】

- ・町内会アプリ事業 ・地域づくりに資する補助
 - ・地域コミュニティに対する相談窓口の強化
- ##### 【地域が取り組むこと】
- ・地域コミュニティの強化 ・行政機関との連携

⑥公共交通

- ・公共交通ネットワークの維持・確保

【行政の取組事例】

- ・公共交通の利用促進に向けた市民ニーズ調査
 - ・デマンド型乗合タクシーの運行改善と利用促進
 - ・運行に関するわかりやすい情報発信
- ##### 【地域が取り組むこと】
- ・積極的な公共交通機関の利用

5. 戦略目標ごとの具体的施策

【KPI】

重点業績評価項目	現状値	目標値
①重層的支援会議の開催回数	—	4回
②特定健診受診率	36%	45%
③市内の医療機関に従事する医師数	58名	58名
④マイ・タイムラインを作成している自主防災組織の割合	37%	60%
⑤CSRマッチング支援件数	15件	30件
⑥ぐるっとバス、おたっしゃ号の平均利用者数(1日あたり)	ぐるっとバス:3.33人 おたっしゃ号:1.26人	ぐるっとバス:4.0人以上 おたっしゃ号:1.5人以上

重点プロジェクト(掲載事業は再掲)

プロジェクト1 「つたえる」プロジェクト

- ・100年企業のプロモーションへの支援
- ・広報戦略の策定
- ・SNSプロモーション推進事業
- ・デジタル技術を活用した観光体験の改善
- ・ふるさと住民登録制度を活用した事業
- ・移住定住促進事業
- ・町内会アプリ事業
- ・公共交通の運行に関するわかりやすい情報発信

プロジェクト2 「つながる」プロジェクト

- ・事業者と求職者の出会いの場の機会創出
- ・事業者向け支援機関との連携
- ・大学との関係構築連携事業
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- ・スポーツ関係団体との連携及び支援
- ・重層的支援体制構築事業
- ・シルバー人材センターとの連携強化
- ・通いの場支援事業
- ・地域防災力強化
- ・JR福塩線の活用に向けた沿線自治体の連携
- ・若者の定着・回帰に向けた県や地域住民等との連携事業

プロジェクト3 「あるきたくなる」プロジェクト

- ・府中駅北口周辺の整備計画の検討
- ・駅南エリアにおける公共施設や官民連携施設を活用した回遊性の促進
- ・上下町の白壁のまちなみを活かした観光誘客
- ・健康管理アプリによる健康ポイント事業